

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2026年 1月 5日作成 第 1.2 版

研究課題名	重症薬疹の病態における自己抗体の役割についての研究
研究の対象	2000 年以降に当院で薬疹やその他の皮膚疾患と診断された方
研究目的 ・方法	スティーブンス・ジョンソン症候群(SJS)、中毒性表皮壊死症 (TEN)は発熱と粘膜や皮膚にびらんを生じる致死的な皮膚疾患ですが、この病態は完全には解明されていません。本研究では、重症薬疹であるSJS/TEN の重症化に関与する可能性のある自己抗体に着目して、SJS/TEN の病態、バイオマーカー開発、治療応用への基盤を構築することを目的としています。方法としては、薬疹と診断された方の血液、皮膚組織を用いて、SJS/TEN とその他の薬疹、その他の皮膚疾患での自己抗体などを比較検討します。
研究期間	2021 年 4 月 22 日（承認日）～ 西暦 2029年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	患者基本情報として、年齢、性別、原疾患、既往歴、薬疹の方は被疑薬、臨床症状及び検査所見、重症度スコア、合併症、治療、後遺症の調査を行います。試料として通常診療で採取した血液、皮膚組織の残余検体を用います。
研究組織 (利用する者 の範囲)	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 皮膚科 （研究責任者） 渡邊裕子 【既存試料・情報の提供のみを行う機関と担当者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 皮膚科 （研究責任者） 金岡美和
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 皮膚科 （研究責任者） 渡邊裕子 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：：045-786-0243</p>	